

ICT を活用するための教育環境の整備計画について

1. 目的

ICT の利活用による教育の質向上を目的として、「ICT 環境の整備」「教職員への技術・教育支援体制の構築」「情報セキュリティへの対応」を本学の全体方針として、本年度の計画を策定する。

2. ICT を活用した教育の質の向上（現状と課題）

全学生に PC を必携化し、学内ネットワーク環境を強化することで、学生が ICT を活用した教育を受けられる体制を整えている。また、PC サポート室を常設し、学生・教職員への技術支援や教育支援体制を整備している。

しかし、複数のウェブサービス（ポータルサイト、Microsoft 365 など）が乱立し、それぞれアクセス先や認証方法が異なるため、利用者の利便性が損なわれている。また、生成 AI の登場によりサイバー攻撃が巧妙化し、パスワードだけでは不正アクセスを防ぐには不十分な状況となっている。

3. 今後の計画（令和 7 年度）

上記の課題を踏まえ、「使いやすさ」と「安全性」の両立を実現し、安心してどこからでも利用できる環境を構築する。

- サービスポータルの構築：利用可能なサービスを一覧表示するポータルを構築し、アクセス先の煩雑さを解消する。
- シングルサインオンの導入：一度のログインで複数のサービスを利用可能にし、認証の手間をなくす。
- 学外アクセス時の多要素認証導入：文部科学省によって、全学的な多要素認証の導入が推奨されていることを踏まえ、現在は成績入力でのみ採用している多要素認証を学外からのアクセス全般に拡大する。これにより、万が一パスワードが漏洩しても不正アクセスを強力に防止し、大切なデータや個人情報を守る。

4. その他の計画

- クラウド型コンピュータ演習支援システムの拡張（令和 7 年 12 月完了予定）
教室での対面演習に加え、遠隔授業でも使用できる本システムについて、同時接続数を 150 人から 200 人まで増やすことで、同時間帯により多くの演習で使用可能にする。
- PC 教室 AV 設備の更新（令和 8 年 2～3 月完了予定）
修理が困難になった 255 および 357 教室のプロジェクターを交換する。
- 次年度以降の計画
全教室に整備されている ICT 機器の状況を継続的に把握し、計画的な更新を検討する。

以上